

# ニューズレター 2月

2024. 2. 1発行



今月は寝室もリビングの床も、全部フローリングでいいの？をお届けします。



HPのお問合せはこちら

部屋ごとに求められる機能は異なります。家中フローリングにリフォームしてしまって本当に大丈夫ですか？実は寝室の床材にお勧めのカーペット、玄関とリビングは思い切って大理石、それともタイルにする？子供部屋はどうする？など、本当に住み心地のいい家にするための適材適所の床選びをご紹介します。

## 1、玄関ホールの床材は、簡単リフォームで高級感がある大理石に



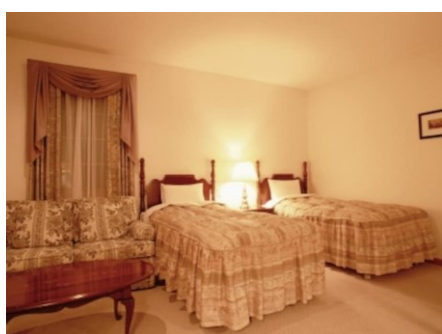
玄関は家の顔です。室内空間の第一印象は、床材の質によって大きく左右されますので、玄関ホールの床材選びでは、ぜひ高級感にこだわりたいもの。そこで使いこなしたいのが大理石です。豪華なのはもちろん、狭く暗く見えがちな玄関を、美しい反射で明るく広く見せてくれます。



床に大理石を張るリフォームは意外と簡単。リフォーム用の石材を使って重ね張りができる。

イマドキは、大理石を床に張るリフォームもとても簡単。薄いリフォーム用の石材を使って、今あるフローリングの上から重ね張りができます。石材の魅力は何と言ってもその高級感です。玄関扉の周辺だけ、リビングの入り口だけなど、部分張りでアクセントにするのもいいでしょう。玄関ホールのようにお客様の目につきやすい部分のリフォームをする時は、高級感をキーワードに床材選びをすると、家のイメージがぐんとアップします。

## 2、寝室の床材は、音が響かずダストを巻き上げないカーペットに



カーペットはこれまで、ダニや掃除の問題で敬遠されがちなところがありました。しかし今では防ダニ機能に優れたタイプがあり、また空気中のダストを舞い上げずに吸着するので、ハウスダストを防ぐ効果があると見直されています。カーペット敷きの寝室は音が響きにくく、静かな環境を作ることができる。ホテルの部屋もとても静か。

寝室の床材をカーペットにすると、音が静かで、素足で歩いても柔らかく、あたたかく、そしてきれいな空気の中ぐっすり眠れる快適な空間になります。

## 3、リビングではどんな風に過ごす？床座なら柔らかい床材に



リビングではソファに座る？それとも床でゴロゴロすることもある？スリッパをはく？それとも素足？どんな風に過ごしているかで、快適な床材は異なります。例えば、スリッパをはいて、ソファや椅子に座って過ごすことが多いなら、硬く傷が付きにくい床材が向いています。裸足で過ごし、床に直接座ることが多いなら、柔らかくあたたかみのある床材を選んでリフォームするといいでしょう。

フローリングを選ぶなら、樹種にもこだわりたい。無垢の針葉樹、例えばパイン材は素足に暖かく、気持ちのいい床になります。ゴロゴロすることが多いなら、和紙畳のフロアを部分的に敷き詰めるのもいいでしょう。和紙畳は、畳のようなやわらかさと、色あせしにくい耐久性の高さ、そして撥水性があるので清掃性のよさを併せ持った床材です。

## 4、リビングの床材は、豪華な大理石やペットがいるならタイルも



豪華なリビングを目指すなら、大理石張りの床もステキです。玄関と同じくフローリングの上から重ね張りができます。ペットを飼っているなら、タイル張りもいいでしょう。タイルの床は掃除が楽で、床暖房システムを取り付ければ、夏涼しく冬暖かく、四季を通じて快適に過ごすことができます。

大切なことは、その床の上でどんな風に暮らすかということ。我が家の暮らし方をよく考えて床材選びをしましょう。

床にタイルを張ったリビング。屋外用タイルを庭に張り、続き間のようなテラスになっている

## 5、子供部屋の床材は、安全で清潔なコルクやクッションフロアも



子ども部屋のリフォームの際には、転んだり跳ねたりしても安全で、掃除がしやすい床材を選びましょう。手頃なのはクッションフロアシートです。値段が安く、掃除がしやすく、丈夫なのが特徴です。

コルクの床もお勧めです。柔らかく滑りにくい特徴を持っています。自然素材のコルクは、ワインの栓だけでなく住宅建材としても優秀で、床だけでなく壁にも使えます。ただし弱点もありますので、下記の説明をあわせてご覧ください。

短所は日焼けや欠け、特性をよく理解して選ぶコルク床の弱点は直射日光です。

日当たりのいい掃き出し窓に接した床は色が抜けて白くなってしまいますので、あまり日当たりのいい部屋には向いていません。またコルクは表面が柔らかいという特性から、動物が掘ったり、引っかかりによって角が欠けてしまうこともあります。自然素材ですので色ムラがある場合もあります。どんな建材にも長所と短所がありますので、短所をよく理解した上で、長所を生かす建材選びをしていきましょう。

## 6、階段材は滑らない+滑ってもケガをしにくい工夫を



階段で一番大事なことは安全性です。石などの硬い階段材はおしゃれですが、転んだ時に大けがをする恐れがあります。安全のためにも、柔らかく摩擦係数が高い階段材を選びましょう。手軽にできるのが、今ある段板の上から、コルクやカーペットを張るリフォームです。

工事はとても簡単で、今ある階段の上から張るだけの内装リフォームです。両方ともに摩擦係数が高く、滑りにくいのはもちろん、柔らかいので転倒しても衝撃を和らげてくれます。

いかがでしたでしたか？本当に住み心地のいい家にするために、リフォームの際には、我が家の暮らし方をよく考えて、快適に生活できる床材を選びましょう。

**株式会社 渡辺組**  
本社 海津市海津町高須町720-1  
0584-53-0174  
0120-202-988  
E-mail info@watanabegumi-kaizu.com  
URL http://www.watanabegumi-kaizu.com/

**土 木 建 築 リフォーム**

\*毎月皆様の暮らしのお役立ち情報をお届けしています。何かお気付きの事や知りたい事などございましたらいつでもご遠慮なくお申し付け下さい。皆様のご意見ご感想を元にお役に立てれば幸いです。